

雄勝稲作情報

No.3 令和7年5月8日



発行 ● 駒 越 農 業 協 同 組 合
 湯 沢 主 食 集 荷 商 業 組 合
 湯 沢 市 農 業 総 合 指 導 セ ン タ ー
 東 成 瀬 村 農 業 総 合 指 導 セ ン タ ー
 秋 田 県 農 業 共 済 組 合
 監修 ● 雄勝地域振興局農林部農業振興普及課
 雄勝地方病害虫防除員協議会

東北地方予報【向こう1ヶ月の天候見通し】

(令和7年4月24日 発表)
 【平均気温】 高い見込みです。 (低20%・並30%・高50%)
 【降水量】 ほぼ平年並の見込みです。 (少30%・並30%・多40%)
 【日照時間】 平年並み又は少ない見込みです。 (少40%・並40%・多20%)

田植への注意点

田植えをする日

田植えは**最高気温20℃前後の温暖な日**に行い、15℃以下の日は極力控えましょう。
 強風、低温の日は植え傷みを起こし、活着や初期生育の遅れにつながります。

栽植密度

安定的に生育・収量を確保するため、栽植密度は**70株／坪**を目安にします。

植付本数

株あたり植付本数が多いと初期分げつが抑制されます。**植付本数は3～4本／株**になるように調節しましょう。

植付の深さ

極端な深植えをすると、分げつを抑制してしまうため、植付の深さは2cm程度とします。

余り苗の処分

補植用の苗を放置しておく、いもち病の発生源になります。

余り苗は速やかに泥の中に完全に埋めて処分して下さい!!

※以下の処分方法ではいもち病菌は死滅しません。

- ・畦畔や農道に放置して枯らす。
- ・水田でひっくり返して置く。

余り苗での葉いもち発病の様子



注意!!

**補植後は、速やかに
余り苗を処分しましょう!**



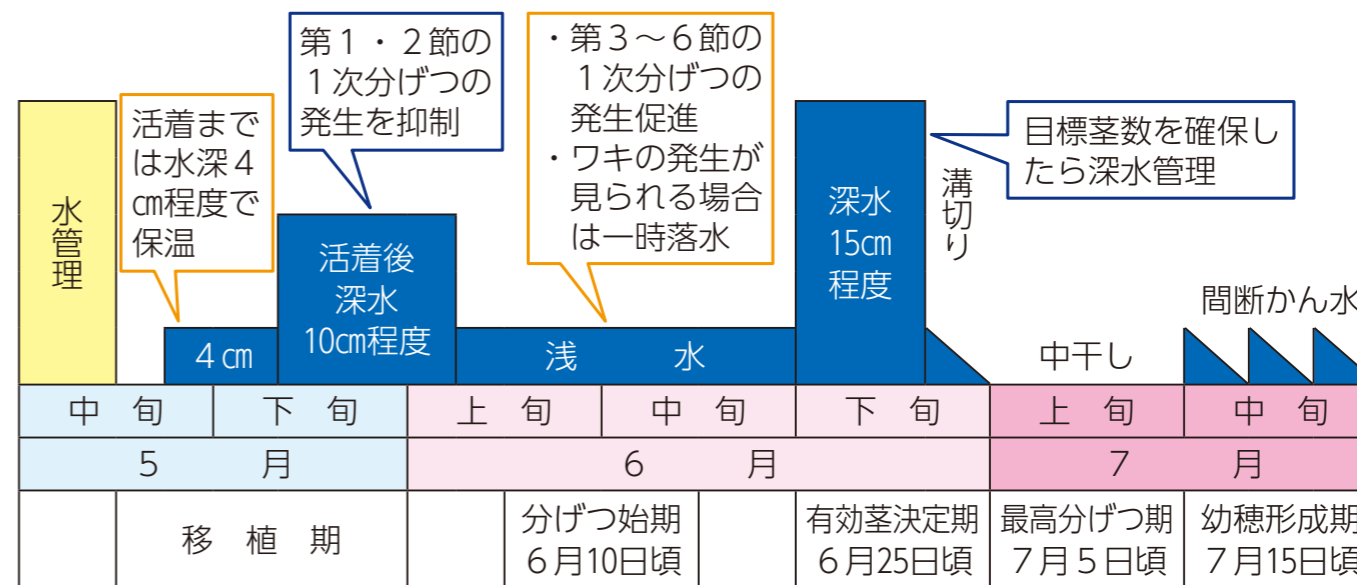
生育初期の水管理のポイント

- 漏水の著しい圃場では、事前に畔塗りや「アゼポリ」を使って漏水の防止に努めましょう。
- 田植え直後は**活着するまで浅水管理(水深4cm程度)**が望ましいです。**保温効果を高めるため出来るだけ湛水状態を保ちましょう。**
- 入水はできるだけ早朝に短時間で行いましょう。(気温日較差を大きくする為)
- 除草剤の効果を高めるためには、**薬剤散布後3日程度は足し水をしない**よう、十分に水深を確保してから薬剤を散布しましょう。
- カナや表層はく離が多く発生している圃場では、除草剤の拡散の妨げや地温・水温の低下により生育が抑制されるので、速やかに水の入れ替えを行いましょう。
- 活着後に深水管理を行うことで第1・2節の分げつを抑制して、弱勢茎の発生を抑えましょう。
- 強風、低温の日以外は**第3節～第6節の1次分げつ(強勢茎)を促進するために浅水管理**を行いましょう。

☆主茎及び強勢茎を中心に確保するために、それ以外の分げつ(弱勢茎)の発生を抑えます。有効茎歩合が高くなり、登熟が向上し実りが良くなります。



田植え後の水管理例



※深水管理が難しい圃場では、目標穂数と同じ茎数を確保したら直ちに中干しを実施し、無効分げつの発生を抑えましょう。

異常気象等、気温の急激な変化による障害が起こる場合があります。育苗時の適切な温度管理により、健全育苗に努めましょう。想定外の事態が発生した場合は、地域ごとに連絡を取り合い、協力して苗不足を解消しましょう。

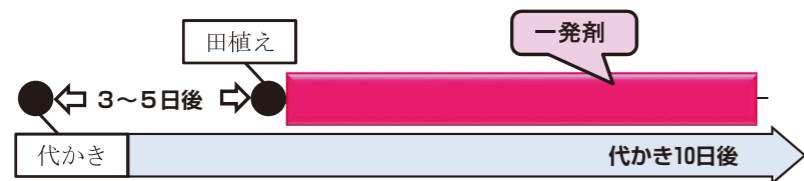
一発処理除草剤を上手に使いましょう

雑草の発生は代かき後に始まり、早ければ10日程度でノビエ2葉期になります。畦畔から見える頃には初期剤散布の適期を逃していることが多いので、見えている場合は速やかに一発処理除草剤（以下、一発剤）を散布しましょう。

除草剤散布イメージ

1. 一発剤のみによる防除

代かきから10日以内をめやすに散布しましょう。

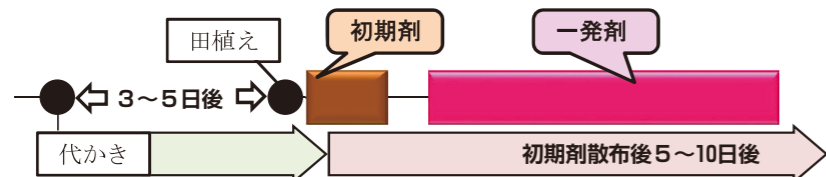


ノビエ2葉期



2. 初期剤＋一発剤による体系処理

- ※1 広葉雑草及びホタルイ類の多い圃場に効果的です。
- ※2 作付品種が前年と違う圃場での漏生苗対策として、初期剤にプレチラクロール剤（ソルネット・エリジャン）等を使用する場合は田植え同時か田植え直後に散布します。



ホタルイ3葉期



※散布水深 粒剤:5cm以上、フロアブル剤・顆粒水和剤・ジャンボ剤・豆つぶ剤:7cm以上初期剤は移植後に使用します。環境への影響と薬害防止を考え、移植前には使用しません。



整地、代播きは丁寧に
田面が露出していると除草剤の効果が十分に発揮できません。



処理時の水深は5cm以上
十分な水深を保つことで除草剤の効果が安定します。



効かせるコツは
○葉期の前に散布!
ラベルに「○○葉期まで」と書かれている使用時期より0.5葉期早めると効果的です。



落水、かけ流しはダメ!!
薬剤処理層を安定させるため、処理後1週間程度は落水もかけ流しも行いません。



処理後の水管理を十分に
散布後は田面を露出しないような水管理を。ただし、かけ流しは行いません。

除草剤散布の時期および散布条件に注意しましょう。

- ・初・中期一発剤はノビエ2葉期頃までに散布すると最も防除効果が高くなります。ノビエ3葉期剤でも過信せずに、早めに散布しましょう。
- ・藻類・表層はく離が多く見られる圃場では、除草剤の拡散性が劣ってしまうことから、除草剤は藻類・表層はく離の発生初期までに散布しましょう。（モゲトン等に対応しましょう）

除草剤によって使用量や散布時期や散布時の水管理が異なりますので、使用前には必ずラベルをよく読み適正に使用して下さい。

除草剤の一例

《藻類・表層はく離》	使用時期の目安	成分数
モゲトン粒剤	藻類・表層はく離発生時、収穫45日前まで	1
クリアホープフロアブル	移植直後～ノビエ1葉期まで(移植後30日以内)	2

《初期剤》	使用時期の目安	ノビエ葉齢	成分数
ソルネット1キロ粒剤	プレチラクロール剤 移植時、移植直後～ 移植直後～	1葉期まで	1
エリジャン乳剤		1葉期まで	
ピラクロン1キロ粒剤	移植時、移植直後～	1.5葉期まで	2
ショキニー250グラム	移植直後～	1葉期まで	
クラール1キロ粒剤	移植時、移植直後～	1.5葉期まで	

《初・中期一発剤》	使用時期の目安	ノビエ葉齢	成分数
シンゲキ1キロ粒剤	移植時、移植直後～	2.5葉期まで	2
カウントダウン1キロ粒剤	移植時、移植直後～	3.5葉期まで	
シグナス1キロ粒剤	移植時、移植直後～	3葉期まで	3
アップレZ1キロ粒剤	移植時、移植直後～	3葉期まで	
流星1キロ粒剤	移植時、移植直後～	3葉期まで	
カイリキZ1キロ粒剤	移植時、移植直後～	3葉期まで	
ベッカク豆つぶ250	移植後3日～	3葉期まで	
アクシズMX1キロ粒剤	移植後7日～	4葉期まで	
シンズイZ1キロ粒剤	移植直後～	4葉期まで	

※一発処理剤の効果不足が見られたら、迷わずに中・後期剤を使用しましょう！

《中・後期剤》	雑草	使用時期の目安	ノビエ葉齢	成分数
クリンチャー1キロ粒剤	ノビエのみ	移植後7日～	4葉期まで※	1
ヒエクリーン1キロ粒剤 ワンステージ1キロ粒剤		移植後15日～	4葉期まで	
レプラスギア1キロ粒剤 ゲパードギア1キロ粒剤	ノビエ及びホタルイ、 コナギ、オモダカ等	移植後14日～ 移植後14日～	4葉期まで 4葉期まで	3

※クリンチャー1キロ粒剤の1.5kg/10a散布の場合は、ノビエ5葉まで。

本田内雑草の駆除をしっかりと！

本田内雑草をなくすことがカメムシ防除の第1歩です。

残草により、水稻の生育不良や水田内での斑点米カメムシ類の発生が助長され、収量や玄米等級が大きく低下してしまう恐れがあります。

除草剤を効果的に使用し、雑草の発生を抑制しましょう。



初期の雑草防除に失敗したほ場とアカスジカスミカメ

4月20日から5月31日まで「春の農作業安全運動」実施中！

～春の農繁期、安全管理を徹底して農作業事故を防止しましょう～